

■ 開講年度	■ 開講学期	■ 開講学部等		
2017	第3クォーター	法文学部人文社会学科		
■ 科目ナンバリング	■ 時間割番号	■ 科目名[英文名]		
LeH2E-2LTR-398	C17751	フランス言語文化基礎演習II General Seminar on French Language and Culture II		
■ 担当教員[ローマ字表記]				■ 単位数
柳 光子 [YANAGI Mitsuko]				1
■ 授業科目区分	専門教育科目 専門教育科目	■ 対象学生	■ 対象年次	2~2

授業題目

フランス文化を読む
(Reading the French Culture)

授業のキーワード

フランス語(French), フランス文化(French Culture), フランス文学(French Literature)

授業の目的

フランス語の読解力を高めるとともに、フランス文化についての知識を深め、総合的な語学力を向上させる。

授業の到達目標

- (1) 基本的なフランス語を理解し、簡単なフランス語を聞き、話し、読み書きできる（文部科学省認定「実用フランス語技能検定試験」2～3級取得レベル）。
- (2) 辞書を用いればフランスの新聞や雑誌の記事をおよそ読解できる。
- (3) 言葉の表面的な意味をとらえるだけでなく、文化的背景を読み取ることができる。

ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標）／ 共通教育の理念・教育方針に関わる項目

社会科学または人文科学の基本的な知識を習得している。
社会で活躍できる的確なコミュニケーション能力を身につけている。

愛媛大学学生として期待される能力（愛大学生コンピテンシー）に関わる項目

個別の知識や技能を相互に関連づけながら習得できる
様々な状況に応じて適切な対話・討論ができる

授業概要

フランス語圏の文化に関する様々な文章を読み、読解力を養いつつ知識を深めます。受講生の実力や関心に応じてテキストは適宜えらんでいきますが、候補としてとりあえず《授業スケジュール》欄に挙げたものを用意しています。

読解力以外の実力養成を目的とする「メディア授業」も数回おこないます。

フランス語文法の確認・詳説なども行いますので、読解力向上をめざす学生はもちろん、仏検対策としての受講もお勧めします。仏検事務局の許可を得て、過去の問題で模擬受験できるE-ラーニング教材も用意しています。

なお、朗読に適したテキストを選んで、綴り字の読み方や発音の練習も行ないます。自信をもってフランス語の文章を音読できるようになりましょう。

授業スケジュール

※本演習を履修する場合は、第4クォーターに開講される「フランス言語文化基礎演習II」（担当教員：柳）を同時に履修登録すること。

受講生の学習歴と希望を参考にテキストを選定しますので、各回のスケジュールは授業開始後に決定することになります。候補をいくつか挙げておきます。

文学作品の抜粋（ペローの童話、『星の王子さま』など）
映画シナリオ（『ロルナの祈り』『最強のふたり』など）
新聞・雑誌等の記事（「モナリザ盗難事件」、「フランスの大学生事情」など）
オペラ台本（『カルメン』『ホフマン物語』など）
フランスの絵本（「リサとガスパール」「バーバパパ」シリーズなど）

この他、フランスの児童書、著名人の語録、シャンソンの歌詞、フランス料理のメニューやレシピ、観光案内資料、日本の小説やマンガの仏訳版なども考えられます。

これらの内容を8回の授業の間に行います。なお、読解以外のフランス語能力アップを目標とする1～2回の「メディア授業」を実施する予定です。事前に十分な説明と操作に習熟する機会を設けますので、特別な準備は必要ありませんが、必ず予め通知する所定の期間内に課題に取り組んでください。

授業時間外学習にかかわる情報

目標とする語学力を身につけるには、授業に加えて受講生自身による事前・事後の学習を必要とします。授業の前に丁寧に辞書を引き、自分なりの解釈を試みる努力は特に大切です。

成績評価方法

平常点により成績を判定。

受講条件

基本的なフランス語の知識（1年次の「フランス語」修了程度）が必要。レベルが心配な場合はご相談ください。

「フランス言語文化基礎演習I」を受講している必要はありません（科目名のIやIIという数字は担当教員が異なることを示すための番号であり、履修の順序やレベルの違いを意味するものではありません）。

受講のルール

授業中に配付する資料を、次の回以降に受け取ることはできません。欠席などにより受け取らなかった場合、早急に担当教員に連絡し、次回の前日までに取りに来ること。それができなかった場合は、他の受講生から借りるなどして自分で解決しなければなりません。

*「授業のスケジュール」にも示した通り、本演習を履修するにあたっては、第4クォーターに開講される「フランス言語文化基礎演習II」（担当教員：柳）を同時に履修登録してください。連続受講することで完結する内容だからです。やむを得ない事情により、どうしても連続受講できない場合は、必ず事前に相談のこと。

教科書（購入の必要のある図書）

教科書1	書名	-	ISBN	
	著者名		出版社	

参考書（購入する必要はないが、推奨する図書）

参考書1	書名	-	ISBN	
	著者名		出版社	

教科書・参考書に関する補足情報

特定の教科書は用いず、適宜プリントを配付。仏和辞典が不可欠。

オフィスアワー

木曜 14:30-15:30（時間調整が必要な場合があるため、できるだけ前日までにメールで連絡してください。また、事前に連絡があれば、可能な範囲で他の曜日・時間帯にも対応します）

Eメールアドレス

yanagi.mitsuko.mx@ehime-u.ac.jp

連絡先

柳研究室：法文本館 8 階 (801)

参照ホームページ

学習支援サイト（略称: AFA）をぜひ活用してください。
<http://afa.ll.ehime-u.ac.jp>（「愛大」「AFA」で検索してもヒットします）

その他

1 回生のときにフランス語を勉強した皆さんが、学習を積み重ねるのに適した授業です。